

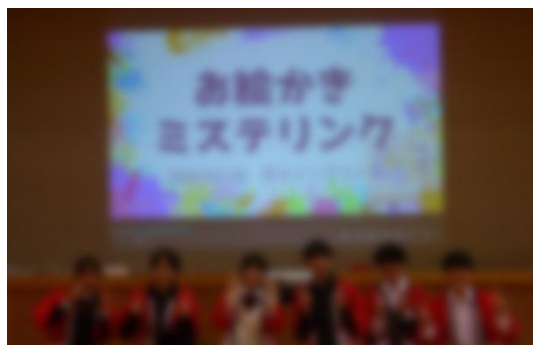


2年学年だより

発行日:令和 8 年1月 30 日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:二上 直子 NO. 9



中学生徒会全校企画 お絵描きミステリンク

副校長 本江聡美

1月20日(火)の7校時に、中学生徒会全校企画「お絵描きミステリンク」がメインアリーナで行われました。中1から中3まで各学年2人ずつ計6人がグループになり、他のグループと交流しながら謎解きをする企画。あらすじとルール説明の動画を昼食時

に視聴し、13日(火)にはアイスブレイクで交流を深めて臨んだ本番では、なんと80グループ中61グループが正解にたどりつきました。そんな企画の中心となった生徒会本部のみなさんにインタビューしました。

全校企画を終えて

- A :無事終わることができてよかったっていうのが第一の感想で。当日、なんか大きいもの(トラブル)がバーンって出て、はーってなるのではないかなと思っていたのですが、それもなく。それはやっぱり、今まで積み重ねてきた話し合いや取組のおかげなんだなって思い、やった甲斐があったなと感じました。
- B :企画を考えだしたのが夏休み前だったと思う。夏休みの間は頭の片隅にずっとありながら過ごし、冬休みに入って「あれ？やることがたくさんあるんじゃないか？」ってなって、ずっと重荷をみんなで一緒に背負ってきたような気がします。すごい大変ではあったけど、なんだかんだ言って、みんなが楽しんでくれたって思えば、まあこれくらい全然いけるなって思ったので、本当にやってよかったなと思います。
- C :いろんな企画をやろうとして、その中に全校企画があった。しかも短い期間で動画を作るなど、いろんな大変なことがあったし、その直前にいろいろ問題が見つかったけど、今日見てたら難しいヒントでも、グループで協力して伝えたり、その相手のグループも頑張ってたろうとしたりしてたのが、やった甲斐があったし、生徒会目標の Renew a Link に沿えたのかなって思いました。
- D :先輩たちが言ったようにめちゃくちゃ忙しいことだったり、トラブルだったり、やばくない？ってちょっと危機感を覚える回数が多めだったんですけど、やっぱりアイスブレイクがスタートしてみんなが笑ってるのを見て、本当に踏み切ってよかったな、スタート切れてよかったなと思う。全校企画も「すごい楽しかったよ」と声かけてもらったときは、今まですごい苦労もあったし、忙しかったけど、でも結局その忙しさっていうのは今にちゃんと繋がっているし、ある意味幸せな忙しさというか、楽しい忙しさと感じました。
- E :全校企画を進めていくにあたって、今日までも些細なトラブルみたいなのがすごい積み重なって、本番になってちゃんと進行できるのかなとか、本番が始まる前にも、リーダーの人たちに紙を持ってもらえなくて、準備が最初滞っちゃったところもあったんですけど、横から見てたときにすごいみんなが楽しそうに笑いながら、絵を描いてくれたり、いろんな人と交流してくれたりしたのは、今回の全校企画で目標にしていたことを達成できたんじゃないかって思うし、終わった後にいろんな人が「楽しかったよ」って、学年

問わず言ってくれたのが本当に嬉しくて、やってよかったなってすごく思いました。

F : まずは終えられたことや安心感。内藤さんと同じように、本当に安心して。もう1つ今日思ったことが。



自分はチェック係だったんですけど、「答え、これですか？」って来たときに「正解だよ」「違うよ」と言います。「違うよ」って言ったときに、本当に悔しがっていた。それがすごい印象に残っていて、「あ、自分たちが企画したものを、こんなに全力で楽しんでくれてるんだ。」っていうのが本当に忘れられなくて。今まで、準備をたくさんしてきてよかったなって切実に思いました。

全校企画で大切にしたこと

A : 他の企画と同じように Renew a Link に関わっていて、大きくはその Link の部分、「繋がる」とか「絆を深める」という、そこを第一の目標にしました。Renew の部分も、全校企画も同じことをやってもつまらないので、そこを新しくしてどうみんなに新しい刺激を与えられるのかを大事にしました。

E : Renew a Link で求めてきたものを今回の全校企画で、実際に見る事ができたのは確かかなって。

大変だったこと・苦労話

B : まず動画なんですけど、動画の撮影が割とギリギリになってしまったので、冬休み中に動画を全力で編集してたんですけど。動画編集をやった M くんは(みんな:笑い)、なんか冬休みの課題が結構ピンチだったらしくて。課題がなかなか厳しいものがあたってという話を聞いたことがあります。

E : クラスの評判もすごい良くて、最初に見たときに「なんか、もう楽しそう！」みたい。最初の良い印象を与えられたのは、彼のおかげだと思う。

本江: 脚本について、T 先生からダメ出しをくらったという話を聞きましたが。

F : そうですね。T 先生からご指摘を受けたのは、ストーリーに「オチがない」ということ。で、すごい考えたよね。(水口: うなずく)めっちゃ考えて、「オチってなんだ？」って。いろんなパターン考えてできあがったのが「中澤先生となんぺんが一緒にハワイに行く」という……。

本江: あれがオチだったんですね。

中澤校長代理の描いた
「からあげ丼を食べるなんぺん」



来年以降の全校企画について

D : 結構例年全校企画実施してるんですけど、でも実は必ずやらないといけないという風には決まっていなくて。なので、13 期生徒会本部がどういことをやりたくて、来年の 15 期・14 期・13 期の中学生のメンバーがどんなことを求めているのか、どんなことをしたいのかっていうのはちゃんと大切にしつつ、その上で全校企画が必要なのか必要じゃないのかっていうのからちゃんと考えていきたいという風に考えていきます。

生徒会本部のみなさんは、生徒会目標を達成するための方法の1つとして全校企画をとらえ準備をしてきたことが伝わってきました。行事などの企画をするときには、何をやるかといった「内容」にばかり目が向き、目標を見失ってしまうことが少なくありません。全校企画は、企画する側も参加する側も、目的をしっかりと意識しながら取り組んだからこそ、大変よい時間になったのではないかと思います。体育祭の部も楽しみです。